

工事成績採点の考査項目別運用表(建築等)

【記入方法】 該当する項目の・マークをドロップダウンから、評価すべき項目なら■を、評価すべき項目でないなら□を、評価対象外なら空白を選択する。 (検査職員)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e	
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
2.施工状況	I.施工管理	<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 約款第19条第1項(1)から(5)に基づく設計図書の照査を、適切に処理していることが確認できる。 ・ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。 ・ 施工計画書が工事着手前に提出され、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。 ・ 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書が提出されていることが確認できる。 ・ 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。 ・ 段階(立会)確認等の手続きが、適切であることが確認できる。 ・ 建設廃棄物の処理及びリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。 ・ 建退共の証紙が適切に配布され、管理されていることが確認できる。 ・ 作業分担と責任の範囲が書面等で確認できる。 ・ 施工体制台帳、施工体系図が的確に整備されている。 ・ 社内検査が計画的に行われ、出来形・品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。 ・ 社内の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。 ・ 工事材料の品質に影響が無いよう、工事材料を整理・保管していることが確認できる。 ・ 工事の関係書類及び工事記録写真等を不足なく、適切に整理していることが確認できる。 <p>その他(――)</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当であれば …………… d</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 <p style="text-align: center;">上記該当であれば …………… e</p>	
		評価値が90%以上 …………… a	評価値が80%以上90%未満 …… b	評価値が60%以上80%未満 …… c	評価値が60%未満 …………… d		
		※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \boxed{} \%$ <div style="text-align: right; margin-right: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px; display: inline-block;"></div> 評 価 </div>	

検査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e				
3.出来形及び出来ばえ	II.品質	建築工事 (新築)	「評価対象項目」 (躯体工事) <ul style="list-style-type: none"> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 不可視部分となる品質が、工事写真・施工記録により確認できる。 中間検査等で実施していた、工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 その他(――) (仕上工事) <ul style="list-style-type: none"> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 不可視部分となる品質が、工事写真・施工記録により確認できる。 中間検査等で実施していた、工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 その他(――)					<ul style="list-style-type: none"> 品質の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当であれば …………… d	$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \boxed{} \%$ <p style="text-align: right;">評価</p>				
			評価値が90%以上 …………… a 評価値が80%以上90%未満 …… a' 評価値が70%以上80%未満 …… b 評価値が60%以上70%未満 …… b' 評価値が50%以上60%未満 …… c 評価値が50%未満 …………… d										
			a	a'	b	b'	c	d					
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	劣っている					
3.出来形及び出来ばえ	III.出来ばえ	建築工事 (新築)	「評価対象項目」 <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 保全に配慮した施工がなされている。 その他() 					確認項目の該当5項目以上 …… a 確認項目の該当4項目 …………… b 確認項目の該当3項目 …………… c 確認項目の該当2項目以下 …… d	<table border="1"> <tr> <td>評価する項目数</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>d</td> </tr> </table>	評価する項目数	評価	0	d
	評価する項目数	評価											
0	d												

検査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e				
3.出来形及び出来ばえ	II.品質	建築工事 (改修)	「評価対象項目」 (躯体工事) <ul style="list-style-type: none"> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 不可視部分となる品質が、工事写真・施工記録により確認できる。 中間検査等で実施していた、工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 その他(――) (仕上工事) <ul style="list-style-type: none"> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 不可視部分となる品質が、工事写真・施工記録により確認できる。 中間検査等で実施していた、工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 その他(――)					<ul style="list-style-type: none"> 品質の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当であれば …………… d	$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \boxed{} \%$ <p style="text-align: right;">評価</p>				
			評価値が90%以上 …………… a 評価値が80%以上90%未満 …… a' 評価値が70%以上80%未満 …… b 評価値が60%以上70%未満 …… b' 評価値が50%以上60%未満 …… c 評価値が50%未満 …………… d										
	III.出来ばえ	建築工事 (改修)	a	a'	b	b'	c	d	e				
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	劣っている					
			「評価対象項目」 <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりにある。 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 保全に配慮した施工がなされている。 その他() 					確認項目の該当5項目以上 …… a 確認項目の該当4項目 …………… b 確認項目の該当3項目 …………… c 確認項目の該当2項目以下 …… d	<table border="1"> <tr> <td>評価する項目数</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>d</td> </tr> </table>	評価する項目数	評価	0	d
評価する項目数	評価												
0	d												

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3.出来形及び出来ばえ	II.品質	電気設備工事 電気通信工事	「評価対象項目」 <ul style="list-style-type: none"> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 不可視部分となる品質が、工事写真・施工記録により確認できる。 中間検査等で実施していた工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で分かりやすい。 その他(――)					・ 品質の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当であれば …………… d ・ 品質が不適切であったため、検査職員が文書による修補指示を行った。 上記該当であれば …………… e			
			評価値が90%以上 …………… a 評価値が80%以上90%未満 …… a' 評価値が70%以上80%未満 …… b 評価値が60%以上70%未満 …… b' 評価値が50%以上60%未満 …… c 評価値が50%未満 …………… d	$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \boxed{} \%$ <p style="text-align: right;">評価</p>							
	細別	工種	a	b	c	d					
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている					
	III.出来ばえ	電気設備工事 電気通信工事	「評価対象項目」 <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな施工がなされている。 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 環境負荷低減への対策が優れている。 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 その他() 					確認項目の該当4項目以上 …… a 確認項目の該当3項目 …………… b 確認項目の該当2項目 …………… c 確認項目の該当1項目以下 …… d			
			<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>評価する項目数</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">d</td> </tr> </table>		評価する項目数	評価	0	d			
評価する項目数	評価										
0	d										

検査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e				
3.出来形及び出来ばえ	II.品質	機械設備工事	「評価対象項目」 ・ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ・ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 ・ 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 ・ 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 ・ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 ・ 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 ・ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 ・ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 ・ 不可視部分となる品質が、工事写真・施工記録により確認できる。 ・ 中間検査等で実施していた工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 ・ 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で分かりやすい。 その他(――)					評価値が90%以上 …………… a 評価値が80%以上90%未満 …… a' 評価値が70%以上80%未満 …… b 評価値が60%以上70%未満 …… b' 評価値が50%以上60%未満 …… c 評価値が50%未満 …………… d		$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \boxed{}\%$ <p style="text-align: right;">評価</p>		・ 品質の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当であれば …………… d ・ 品質が不適切であったため、検査職員が文書による修補指示を行った。 上記該当であれば …………… e	
	III.出来ばえ	機械設備工事	「評価対象項目」 ・ きめ細やかな施工がなされている。 ・ 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ・ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ・ 環境負荷低減への対策が優れている。 ・ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ・ その他()					優れている やや優れている 他の評価に該当しない 劣っている		確認項目の該当4項目以上 …… a 確認項目の該当3項目 …………… b 確認項目の該当2項目 …………… c 確認項目の該当1項目以下 …… d			
			<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>評価する項目数</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">d</td> </tr> </table>		評価する項目数	評価	0	d					
評価する項目数	評価												
0	d												

検査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e				
3.出来形及び出来ばえ	II.品質	外構工事	「評価対象項目」 <ul style="list-style-type: none"> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 不可視部分となる品質が、工事写真・施工記録により確認できる。 中間検査等で実施していた工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 その他(――)					<ul style="list-style-type: none"> 品質の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当であれば …………… d					
			<ul style="list-style-type: none"> 品質が不適切であったため、検査職員が文書による修補指示を行った。 上記該当であれば …………… e										
				評価値が90%以上 …………… a	評価値が80%以上90%未満 …… a'	評価値が70%以上80%未満 …… b	評価値が60%以上70%未満 …… b'	評価値が50%以上60%未満 …… c	評価値が50%未満 …………… d	$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} \times 100 = \frac{0}{0} \times 100 = \boxed{} \%$ <div style="text-align: right;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>評価</td></tr> <tr><td> </td></tr> </table> </div>	評価		
評価													
	細別	工種	a	b	c	d							
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている							
	III.出来ばえ	外構工事	「評価対象項目」 <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりにある。 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 保全に配慮した施工がなされている。 その他()					確認項目の該当5項目以上 …… a 確認項目の該当4項目 …………… b 確認項目の該当3項目 …………… c 確認項目の該当2項目以下 …… d					
			<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>評価する項目数</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">d</td> </tr> </table>		評価する項目数	評価	0	d					
評価する項目数	評価												
0	d												

検査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e				
3.出来形及び出来ばえ	II.品質	解体工事	「評価対象項目」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 振動・騒音・粉塵・汚濁水等により、第三者に被害をおよぼさないよう施工していることが確認できる。 ・ 供用中の道路・住宅等に影響をおよぼさないよう施工していることが確認できる。 ・ 本体構造物の一部を撤去する場合には、本体構造物に損傷を与えないよう施工していることが確認できる。 ・ 取り壊し殻を分離し、それぞれ収集運搬、処理が適正に行われていることが、産業廃棄物管理票(マニフェスト)で確認できる。 ・ 不可視部分となる品質が、工事写真・施工記録により確認できる。 ・ その他の事項について設計図書に基づいて施工されている。 ・ その他() 					・ 品質の管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当であれば …………… d ・ 品質が不適切であったため、検査職員が文書による修補指示を行った。 上記該当であれば …………… e					
			確認項目の該当5項目以上 …… a	確認項目の該当4項目 …… a'	確認項目の該当3項目 …… b	確認項目の該当2項目 …… b'	確認項目の該当1項目以下 …… c	<table border="1"> <tr> <th>評価する項目数</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>c</td> </tr> </table>		評価する項目数	評価	0	c
評価する項目数	評価												
0	c												
	III.出来ばえ	解体工事	a	b	c	d	「評価対象項目」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存部分や関連設備との調整がなされている。 ・ 安全及び環境に対する配慮が適切である。 ・ 整地状況が良い。 ・ 解体撤去後の全体的な美観が良い。 ・ その他() 						
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	確認項目の該当3項目以上 …… a 確認項目の該当2項目 …… b 確認項目の該当1項目 …… c 確認項目の該当0項目 …… d						
						<table border="1"> <tr> <th>評価する項目数</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>d</td> </tr> </table>		評価する項目数	評価	0	d		
評価する項目数	評価												
0	d												